



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

UACJ IR Day 2021

板事業の現況と展望

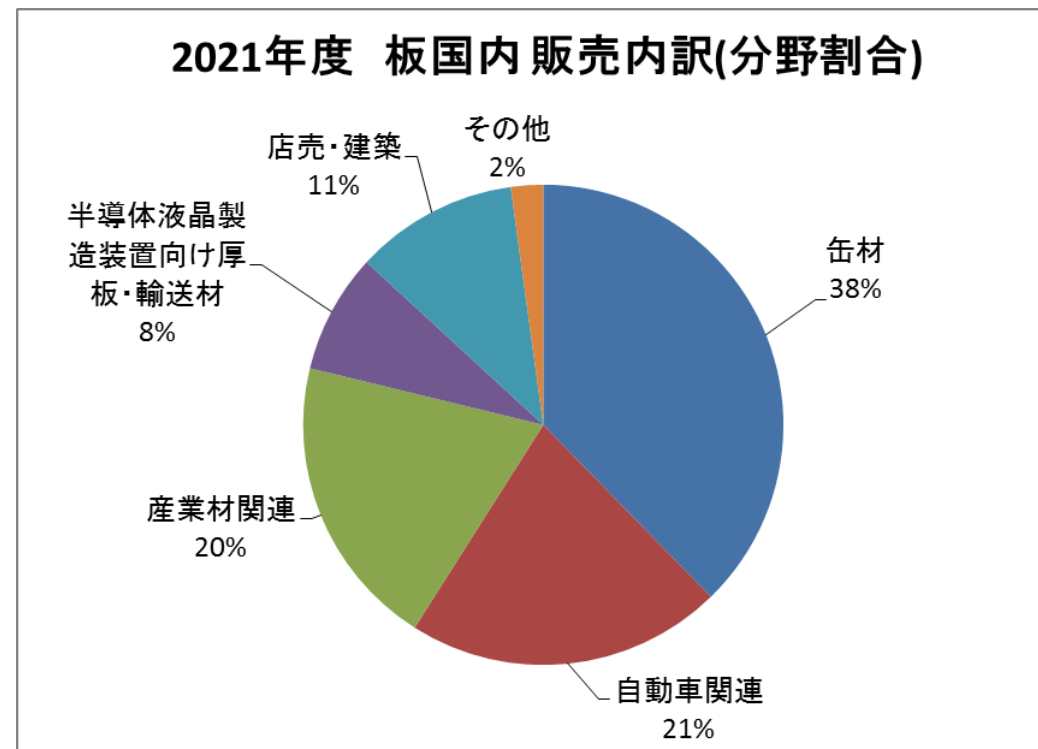
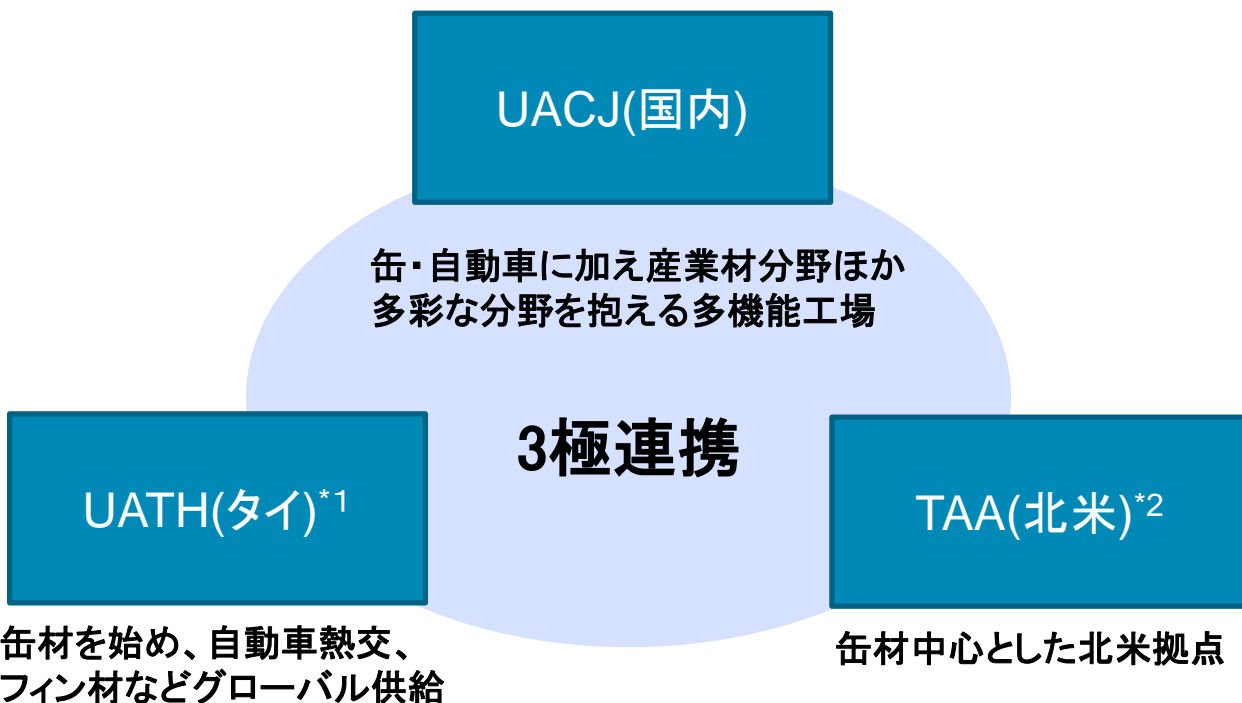
専務執行役員 板事業本部長 田口 正高

2021年6月8日
株式会社UACJ



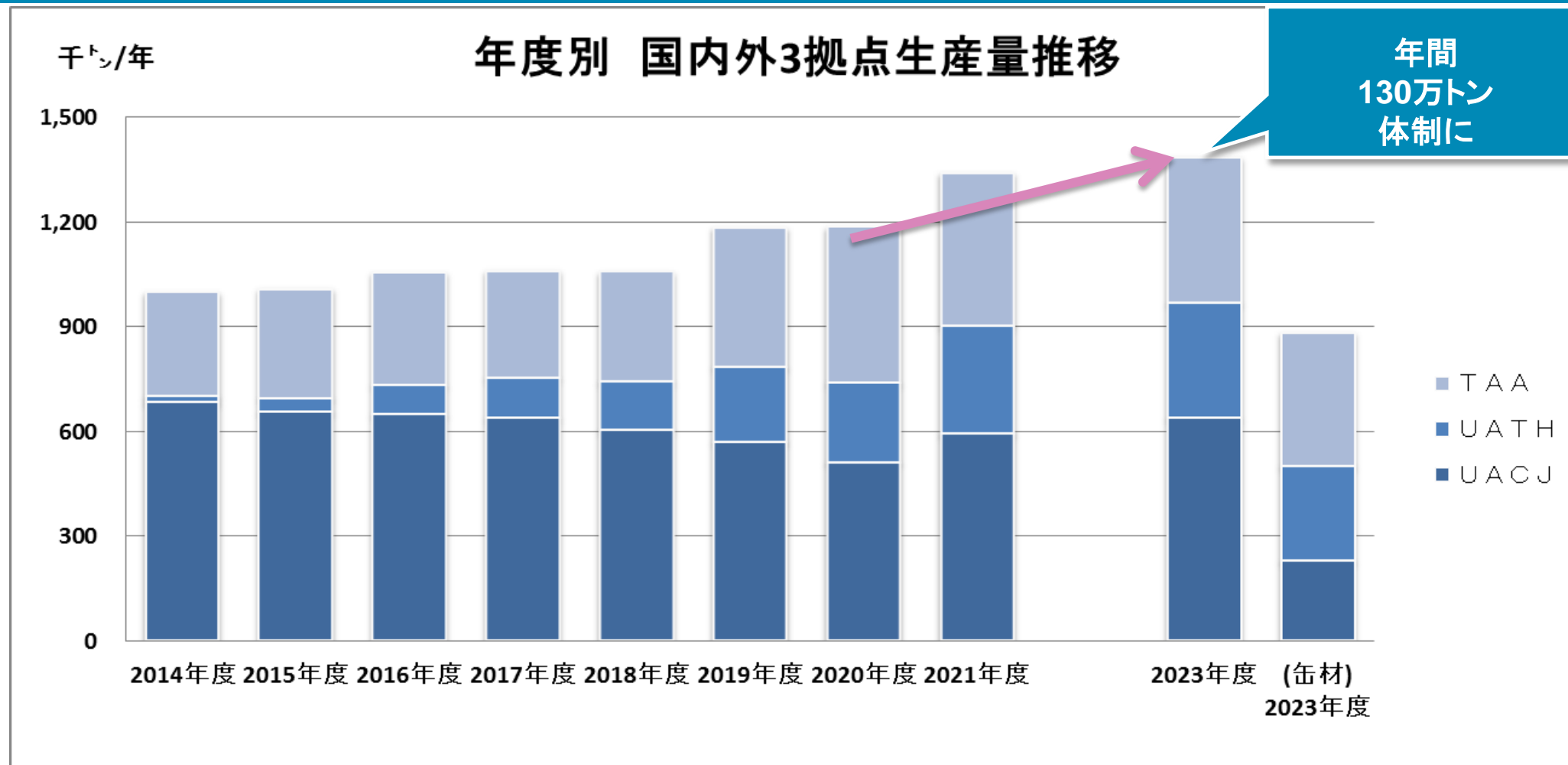
1. 板事業概要と事業領域

缶材や自動車を始め、幅広い分野・地域へのアルミ板供給が持ち味



2. 3極販売量の推移（年度別）

TAA、UATH、国内3極からのグローバル供給を積極的に展開
20年度120万トン→23年130万トン以上へ



2. 3極体制の強化

世界3極供給体制 を活かしたグローバルでの缶材拡販を目指す

日本 : 構造改革の完遂

構造改革完遂による損益改善と
限界利益率の向上

- 重点品種の拡販
- 環境対応強化

TAA : 旺盛な北米需要の獲得

収益性を維持し、先行投資の回収を目指す

- UATH/日本との連携による販売拡大
- さらなる生産能力アップを検討中

UATH : 32万トン+α の生産

現有設備の徹底活用による生産、
販売数量のアップ

- 製造所運営の現地化
- 収益向上施策の実行
- 北米向け等、グローバル展開

板事業 本部 経常利益 +180億円

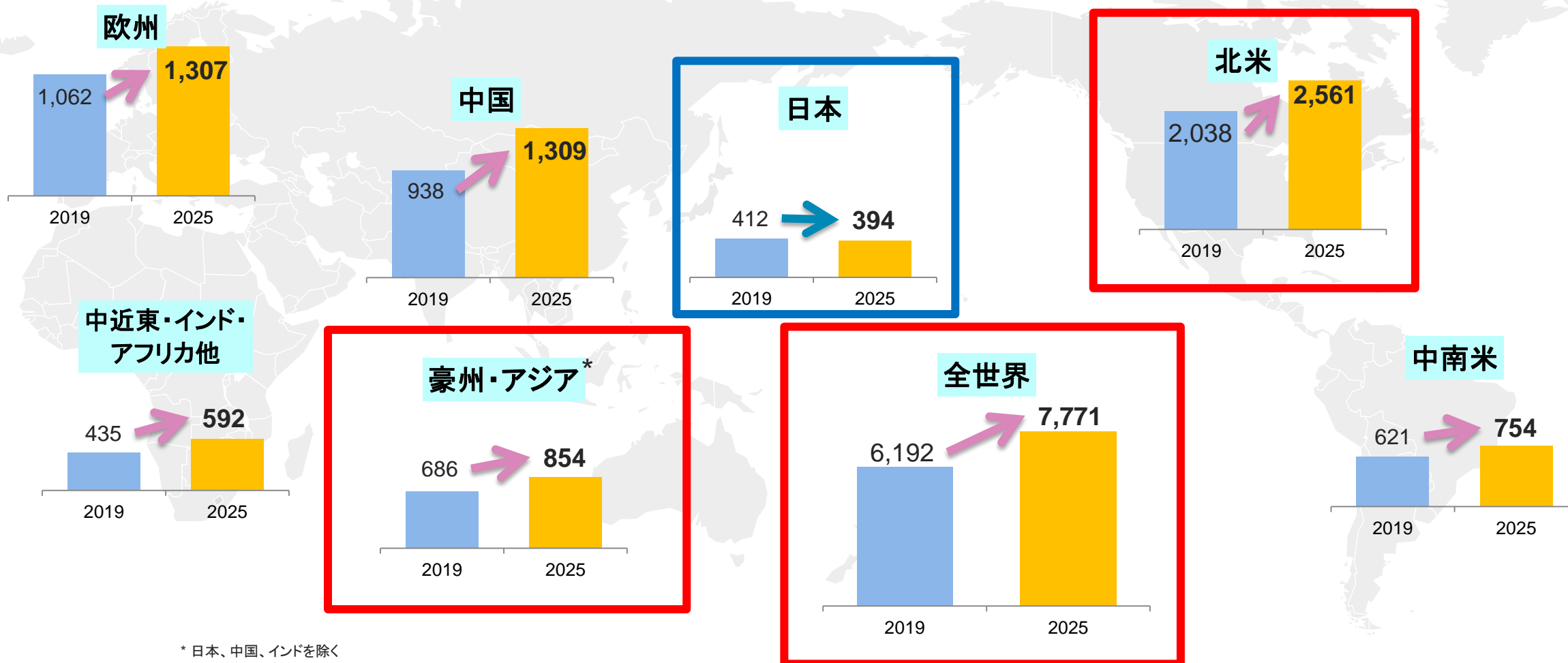
3極運営体制のサポート強化と
製造所オペレーションの効率化をサポート

- 3極連携でのグローバル顧客への缶材販売強化
- 好調な北米市場への他拠点から販売拡大
- 3極での技術、製造ノウハウの共有

3. 地域別の缶材需要

北米地域中心に世界的な缶材需要の増加

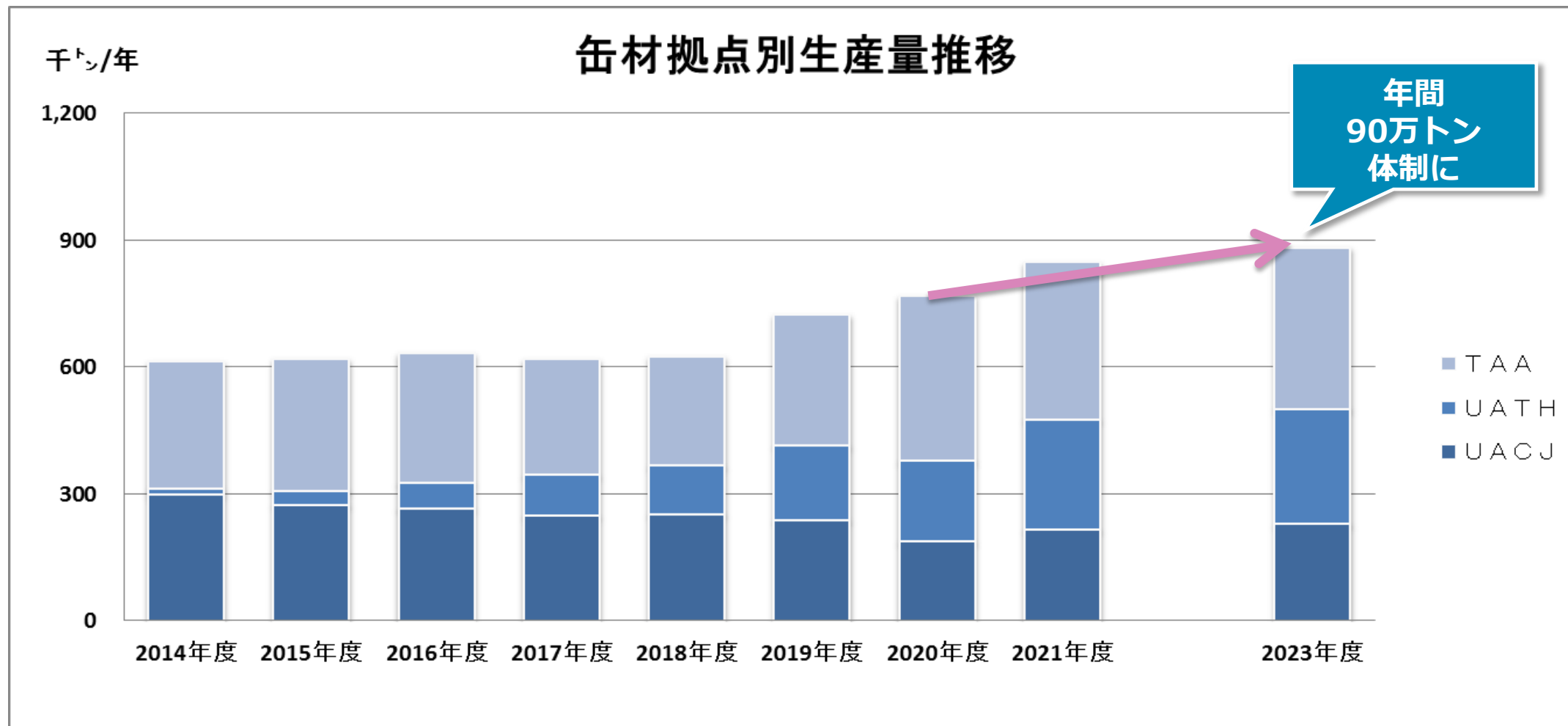
(単位:千トン)



* 日本、中国、インドを除く

3. 缶材 3極販売量の推移

特に缶材を中心にグローバル供給で数量を伸ばす
2020年度 80万トン → 2025年度 90万トンを目指す



4. 各製造所の特色

多彩な顧客層、ニーズに合わせた様々な製品設計力
生産能力を活かした事業展開

2023年30万ト

缶、自動車を中心とした圧倒的な競争力で
高品質・短納期・サービスを提供

福井製造所

2023年5万ト

先進の技術で
厚板の付加価値を創造

深谷製造所

各製造所の特色を活かした事業活動

UATH

缶材を中心とした
グローバル供給拠点

2023年32万ト

名古屋製造所

多彩な品種で
お客様の価値創造に貢献

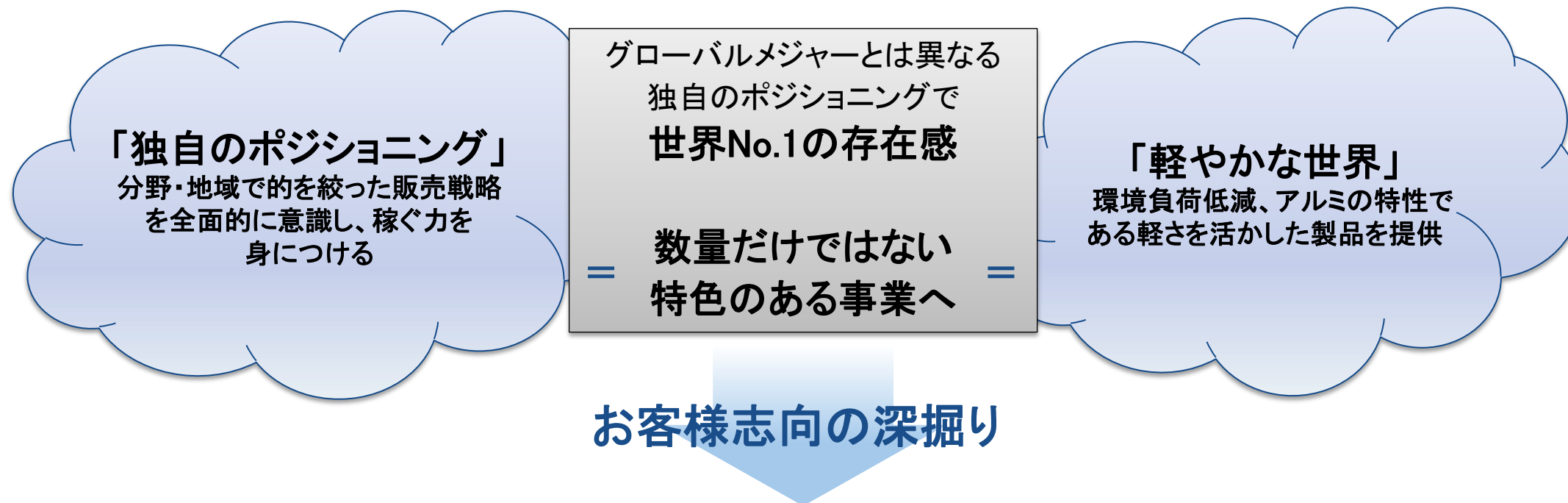
2023年29万ト

TAA

缶材中心の北米拠点

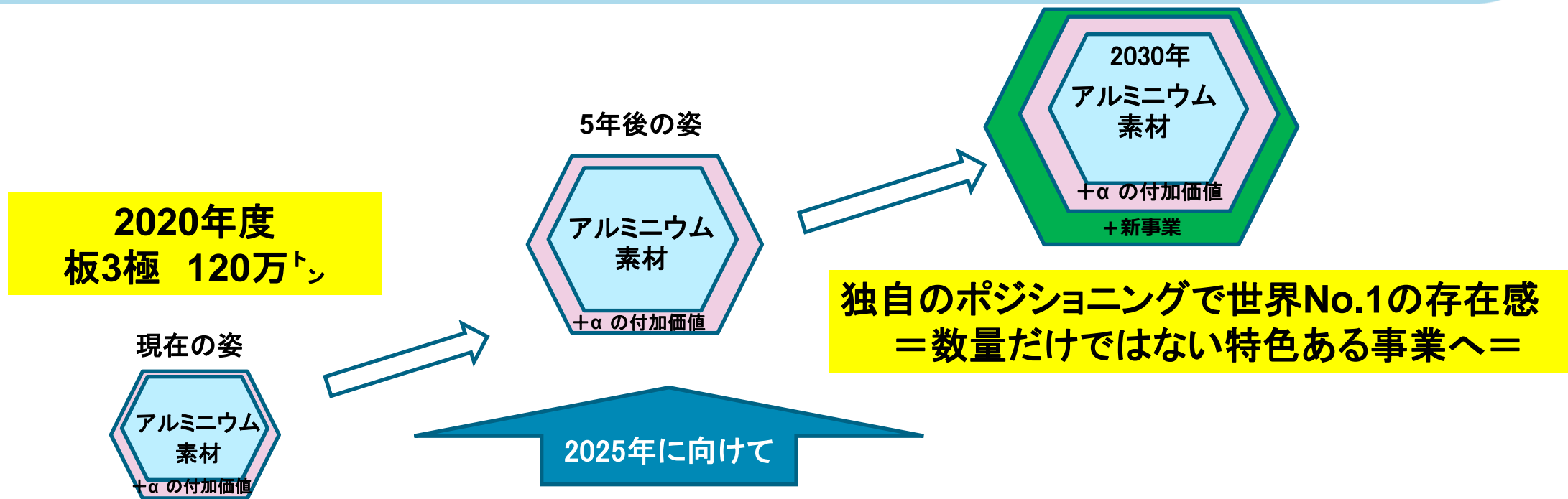
2023年45万ト

5. 今後の方向性-板事業のありたい姿(2030年ありたい姿)



主要分野	独自のポジショニング
缶材	Can to Canリサイクル推進
自動車材	加工性やリサイクル性を追求した材料開発
産業材	環境負荷軽減に向けた製品開発
厚板	加工との連携による付加価値を付与

5. 今後の方向性 重点方針と重点課題



重点方針	
グローバル展開	製品や地域の多様化を進め、重点地域へ注力
差別化	アルミの特性を活かした多様な材料開発、リサイクル推進
環境負荷低減	リサイクル活動の更なる推進 サプライチェーン全体での負荷低減

重点課題	
収益改善	生産最適化、損益改善、固定費圧縮
財務改善	棚卸試算の削減、キャッシュフロー、資本効率重視
異種性、多様性	リサイクルや新規事業を推進、多様性や柔軟性の強化
土台の強化	人材育成: 活動の土台となる人への教育・投資
	マーケティング力: 市場やサプライチェーン理解、アルミ化啓蒙活動など
	DX活用: デジタル活用によるマーケットイン、データ活用、安全対策、自動化の推進

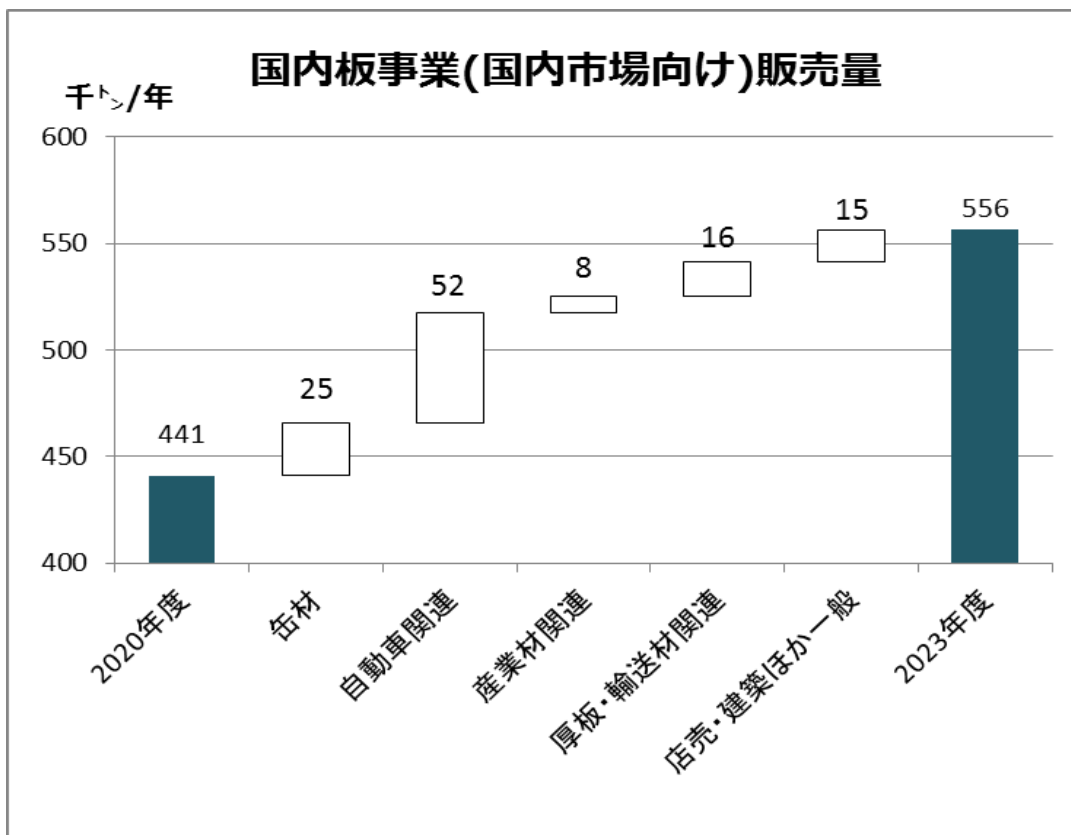
5. 今後の方向性 2025年に向けての重点地域

分野	2025年に向けての重点地域				
	日本国内	中国 韓国 台湾	東南 アジア	北米	その他
缶材	注力地域	注目地域	注力地域	注力地域	注力地域
自動車関連	注力地域	注目地域	注力地域	注力地域	注目地域
産業材	注力地域	注目地域	注力地域	注目地域	注目地域
厚板・輸送材 料	注力地域	注目地域	注目地域	注目地域	機会あれば販売
コイルセンター	注力地域	機会あれば販売	機会あれば販売	機会あれば販売	機会あれば販売

2025年に向けて
日本国内、東南アジア
北米を中心とした
事業展開

5. 国内板事業

基盤分野の缶材、自動車関連材を軸に、差別化により需要取り込み



分野別の戦略

分野	市場	方針
缶材	国内	✓ 顧客との強いリレーション維持のもと、シェア拡大と缶需要喚起を狙う
産業材	箔地	✓ リチウムイオン電池需要の更なる取込を目指し、製箔及び電池事業を強化する
	フィン	✓ 環境負荷低減/リサイクル志向で差別化できる熱交や塗膜を開発
	電池材	✓ 市場の拡大に対応し、コスト競争力と供給力を確保
	IT	✓ 環境対応型の商品開発を行う
自動車		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 福井製造での歩留まり改善によってコスト競争力を強化 ✓ 品質の構築やリサイクルモデルの確立により加工性やリサイクル面で差別化
自熱交	EV/FCV	✓ CO ₂ 削減への取り組みと電動化需要の獲得を目指す
厚板・輸送材 鋳鍛		✓ 品質改善と受発注DX化等により差別化を図る



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界